

居場所  
東 部  
富士宮市

黒田よりあいサロン

“黒田で暮らしていてよかった”と  
誰もが思える地域づくりのベース

「黒田よりあいサロン」は市内の介護施設で仕事をしてきた外岡準司さんが平成21年に黒田地区で始めた認知症サポーター養成講座が母体です。約1300世帯ある黒田地区。介護保険だけでは対応できない高齢者が少なくなく、地域の理解や住民同士の支え合いが必要だと感じ、黒田地区区民館で講座を始めました。少しずつ地区の理解も深まり、週1回の居場所「黒田よりあいサロン」がスタートしたのが平成25年春。「家にも自分の居場所がない、毎日、何もすることがないという人に気軽に来てもらえる場」を目指しました。立ち上げの際の参加者は6名程でしたが、今は毎回30名前後が参加。お昼までの2時間、活動の中心は「おしゃべり」。数名ずつのグループにわかれて自由に談笑します。黒田で暮らしていてよかった、と誰もが思える地域づくりが、着実に進んでいます。

ここに注目!!



午前9時半からスタート。自己紹介のあとは唄。おしゃべりタイムをばさんで体操で終了します。利用料:無料

平成21年から令和2年まで黒田認知症サポーター養成講座は31回開催。平成27年夏からは地元黒田小学校6年生を対象にした講座も年1回開催され、毎年、130名前後の子ども達が受講しています。



DATA

☎(0544) 23-3638 (外岡)

富士宮市黒田242-1  
黒田区民館

開設日時/木曜日 9:30~11:30  
アクセス/JR身延線、源道寺駅より徒歩20分  
駐車場/有  
運営主体/黒田キャラバンメイトと地域の協力者  
代表者/外岡準司  
※視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆制度では対応できない高齢者や障害のある人の存在に気づく
- ◆地域での支えあい
- ◆認知症や障害のある人のことを勉強し、理解する
- ◆介護保険等を使いはじめても今までと同様に、地域の方々と楽しく過ごす

居場所  
中 部  
静岡市

白ゆりカフェ

家庭のリビングそのままの居場所  
あたたかな雰囲気です孤立や認知症を予防

代表の村田君枝さんがもともと手芸のサークル活動で使っていた自宅を地域に開放した居場所。長年ボランティア活動が続けてきた村田さんが岡地区社会福祉協議会の大石葉子さんと話し合い、平成27年9月に岡地区社協の居場所事業として健康体操と手作りの会からスタート。翌年1月に本格的に開設。また、平成29年4月には静岡市認定「白ゆりカフェ」として認知症予防プログラムも加わりました。活動を支える17名のボランティアは全員認知症サポーター養成講座を受講しています。家庭のリビングをそのままを使い、あたたかな雰囲気。芸達者なボランティアの踊りや合唱、体操、心のこもったお菓子をいただきながら会話が弾みます。男性も多く参加しています。

ここに注目!!

平成29年4月に静岡市認知症カフェとして認定。キャラバンメイトによる認知症に関する話のほか、看護師、介護士、警察の方などからも情報を得ています。



脳の活性化のため手指を使う手芸は人気。今まで作った作品です。



男性に人気の「将棋の会」。月1回のこの日を楽しみにしている人が多い。

DATA

☎054(352) 3956

静岡市清水区大沢町9-26

開設時間/◆将棋の会  
第2火曜日 9:30~11:30  
◆体操クラブ  
第2土曜日 13:00~15:00  
◆小物作り  
第3金曜日 13:00~15:00  
第4金曜日 10:00~12:00  
◆認知症カフェ  
第4土曜日 10:00~12:00

参加費/(会場使用料)100円、(茶代)100円  
\*小物作りは別途材料費実費  
アクセス/静岡鉄道桜橋駅より市立病院行きバスで「堂林」下車、徒歩3分。

駐車場/無  
運営主体/白ゆりの会  
代表者/村田君枝



開設のきっかけキーワード

- ◆自宅の空き室を活用
- ◆小物作り(手芸)の会
- ◆認知症予防、健康体操
- ◆地区社協と協働

居場所  
中 部  
静岡市

よ 生き生きサロン寄ってっ亭

一人暮らしの高齢者を見守り、  
誰もが自由に交流。子どもの居場所も。

通りに面した「寄ってっ亭」の大きな窓はまるで縁側のように。季節の野菜や古い着物をリメイクしたステキな洋服や小物が並び、思わず室内をのぞいてみたくなります。ここに今、月平均300人以上の地域の人たちが訪れ、それぞれがやりたいことをして、自由に過ごしています。介護事業所として20年近くデイサービスを運営しながらも、誰もが自由に交流できる場所が欲しいと思ってきたという「泉の会」理事長の藤下品子さんが、ここを平成20年に立ち上げた頃は、居場所ではなく「たまり場」と呼んでいたそうです。平成29年8月から子どもの居場所「こどもっ家」を月2回開催。ボランティアの手作りの食事を食べたり、宿題や将棋をしたりして一日を過ごしています。小学校1年生から6年生が参加。

ここに注目!!



ちょっと心得のある人が教える。おしゃべりも楽しい、手作りも楽しい。



2階の多目的スペースで体操や卓球。静岡市が推奨している「でん伝体操」を地域の人たちが週2回、自主的にを行っています。クチコミで広がり参加者も増えました。



「こどもっ家」は月2回(土曜日+小学校が代休の日など)開催。参加費は子ども一人につき300円。20名前後の子ども達が訪れている。

DATA

☎(054)367-2878

静岡市清水区追分3丁目5-17

F A X / 054-367-2884  
開設時間/月~土曜日 9:00~16:00  
アクセス/静岡鉄道「桜橋」下車徒歩15分  
駐車場/有  
運営主体/NPO法人 泉の会  
代表者/藤下品子(理事長)  
※視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆介護事業所運営の中からの気づき
- ◆地域の交流の場の必要性
- ◆介護予防、孤立予防
- ◆「たまり場」から「居場所」へ

居場所  
中 部  
静岡市

みんなの居場所 わくわく亭

助けられたり、助けたり  
居場所を基点に、助けあいの輪が広がります

長年にわたり地域で高齢者が安心して暮らしていくための助け合い活動をしてきた「WAC清水さわやかサービス」の鈴木明与さんが「高齢者が家の中にばかりいて遊びに行く所がない」と平成10年に前身となる「デイ茶ろん」を開設。平成12年に団体を法人化し、デイサービスや訪問介護の事業に取り組みました。「介護保険制度の枠組みを超えて、高齢者だけでなく介護者も地域のみならず気軽に遊びに来られる場所を作りたい」と想いを募らせ、平成25年の春に「わくわく亭」をオープンし、それが居場所となりました。静岡市委託事業の「しぞ〜か〜でん伝体操」や自主的に集まっての介護予防体操、手芸や音楽リハビリ、昼食を食べてその後のおしゃべり等、利用者とスタッフの区別がつかないほど、自然で穏やかな時間が流れています。

ここに注目!!



毎月第3金曜日(18:00~20:30)は「夕ぐれカフェ」。好きな飲み物(アルコール類等)は各自持参で、料理はバイキング形式(参加費700円)。ほろ酔い気分での地域のこと、趣味や仲間のこと等、話に花が咲きます。



火:歌声喫茶と給手紙  
月・水・木:介護予防体操 第4土:手打ちそば

開設のきっかけキーワード

- ◆地域の高齢者の暮らしサポート
- ◆「困ったときはお互いさま」のたすけあい活動
- ◆高齢者が遊びに行くところは?
- ◆たすけあい活動と介護保険事業から居場所へ